

## 柱4 地域の見守り支えあい

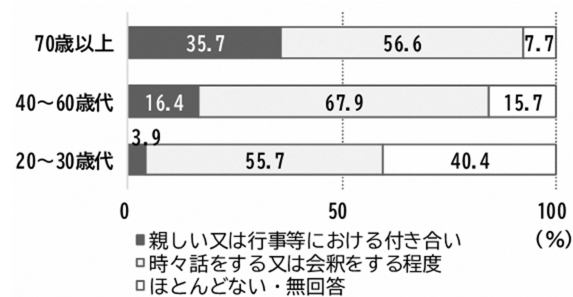
### 【現状と課題】

#### (1) 地域における見守り支えあいの推進と、交流の場や機会の創出

- 区民の特性として転入・転出者が多いこと、特に若年層の地域とのつながりが生まれにくく、日常生活の中での緩やかなつながりをきっかけとした地域コミュニティの創生。
- 公益的な活動の担い手の養成が活動につながりにくいことによる、活動意欲のある人と活動団体等とをつなげる仕組みの必要性。
- 相談者の属性に伴う特有の相談から適切な課題解決につなげるための、重層的な相談支援体制の充実や関係機関との連携強化。
- 介護職員の不足が見込まれることや、高齢者の日常生活を支える環境づくりが求められることなどから、見守り活動の主体の拡充とICTを活用した見守り体制の構築。
- 地域の課題や個人の抱える課題の多様化・複雑化に伴う、公益的な活動団体の活動の重要性の増大による、区や関係機関等が把握している情報の共有化と活動団体への支援の充実、及び必要な支援を受けられていない人の早急な把握と適切な支援。

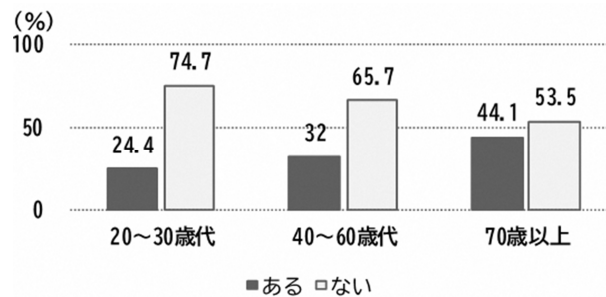


#### 近所とのつきあいの程度



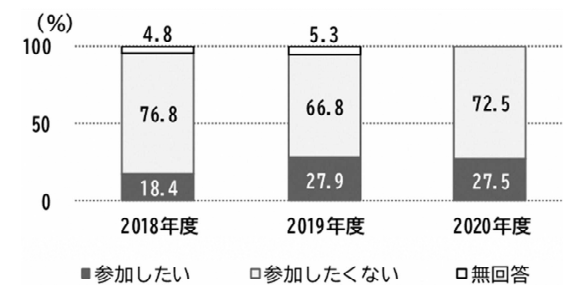
中野区基本計画 施策3より

#### 住民同士の交流の場があると感じている区民の割合



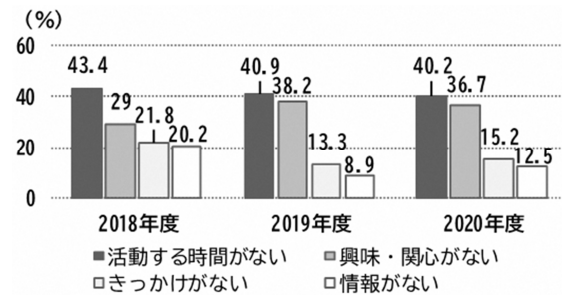
中野区基本計画 施策3より

#### 町会・自治会活動やボランティア活動に参加したいと思っている区民の割合



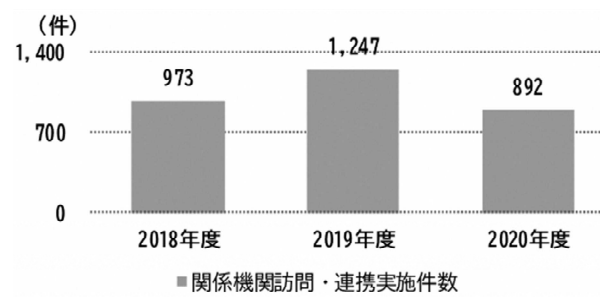
中野区基本計画 施策4より

### 地域活動等に関わらない理由



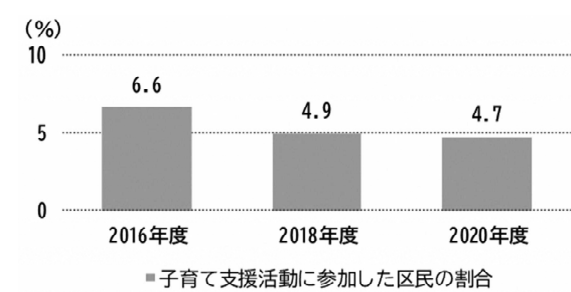
中野区基本計画 施策4より

## すこやか福祉センターによる関係機関訪問・連携実施件数



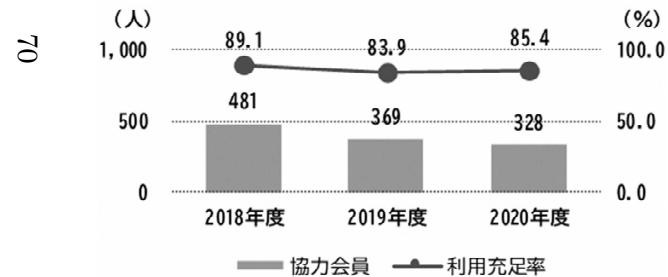
中野区基本計画 施策15より

子育て支援活動に参加した区民の割合（最近1年間）



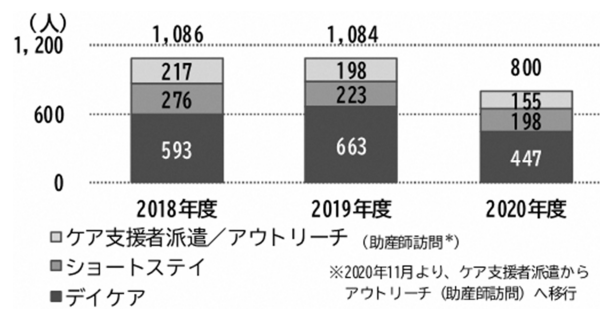
中野区基本計画 施策20より

## ファミリー・サポート・センター活動実績



中野区基本計画 施策20より

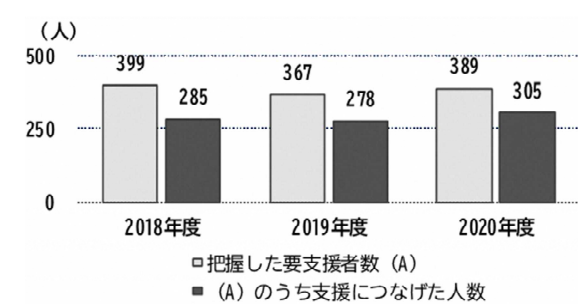
## 産後ケア事業利用実績



※2020年11月より、ケア支援者派遣から  
アウトリーチ（助産師訪問）へ移行

中野区基本計画 施策21より

## アウトリーチチームが支援につなげた要支援者数



中野区基本計画 施策33より



		求めてくれるすべての人に傾聴(安心して何でも話せる)の場を提供	傾聴ボランティアきくぞう	
		○居場所提供(ミニデイ・子育て広場) ○家事援助 (掃除、買い物、通院付き添い等) ○託児 ・話し相手(相談含む)	オアシスなべよこ	現状維持(コロナ前) 月1回高齢者ミニデイ、月2回子育てひろば 家事援助、託児等
		○鍋横区民活動センター内で週1回 カフェ開催 ○第5週目はイベント開催	なべカフェ	
		「なべよこお茶っこ相談」 鍋横区民活動センターで、年齢問わ ず、暮らしの中の困りごと等を社会福 祉士やケアマネジャーが相談対応	地域包括支援センター・中野区 社会福祉協議会(なべカフェや 鍋横区民活動センター運営委 員会が協力)	
		地域で活動できる担い手を発掘し、活 動の場を共に生み出す環境づくりを 「わいわい東山」として企画	NPO 法人 リンク東山	年12回実施
		○映画上映会 みやももシアター ○週替わりカフェ みやももカフェ、ほっとサロン南口 オレンジカフェ、桃園茶屋	なかのももぐみ	
		囲碁を通じた交流の場を提供	翔和学園	
		ひな祭り、七夕、クリスマスなどにイ ベントを開催	やよいボランティアコーナ―	
		ミニサロンやランチの集いなどを開催	南中野ボランティアコーナ―	
		子育て世帯の方が活用できるよう、当事 者目線で作成した商店街マップを提供	中野区商店街連合会	



		宅配サービス、店舗での見守り活動	生活協同組合コープみらい	
		○区民活動センターでの様々なグループの活動への入り口の提供 ○おしゃべりできる場の提供	新井区民活動センター運営委員会	
		いそとりどり 障害児者とその家族向けの茶話会、企画講座など開催、ペアレントメンター活動、安心して過ごせる居場所提供等	NPO 法人わかみやクラブ	
		○ATMや窓口での振り込み手続きや大口の現金支払いを申し出てくる来店客に対して「振り込め詐欺」かもしれないという目線で声がけをする。場合によって警察署とも連携 ○「困っている来店客」へ特に丁寧な対応を心がける	みずほ銀行 中野支店	
		来店客で様子が気になる方がいれば声がけするなど、ゆるやかな見守りを行う	(株)セブンイレブンジャパン	
		○配達時に組合員や配達エリアの住民の見守り(先週の配達物が残っていないか、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっていないか等) ○見守り安心サービスに登録している組合員には、毎週配達した際に在宅・不在などの状態を家族の方のメールアドレスに配信	生活協同組合 パルシステム東京 練馬配送センター	
		○地域見守りネットワーク会議への参加 ○会館会議室や地域交流スペースの活用による区民交流の場の提供 ○災害ボランティア講座の開催	東京都生活協同組合連合会	

		○会館を活用した近隣住民参加の「会館祭り」イベントの開催										
		○水道メーターの定期検針や再調査時等において気づいた異変情報を区福祉部署に提供する ○水道・下水道料金支払い困難者を対象とした「支払い猶予の受付」催告文書に福祉部書を明記し案内する	東京都水道局杉並営業所									
		屋内停電等の訪問要請があった際、独居と思われる方には、地域とのつながりや公的サービス受容の有無など外部との接点について聴取する	東京電力パワーグリッド株式会社 荻窪支店									
		客先訪問時の見守りと自治体の発信する情報の周知	明治安田生命保険相互会社 新宿支社									
		★人とまちを知るための情報発信 ○SNS等の活用による情報発信 ○転入時等の地域情報の提供  身近な地域の人と知り合うきっかけづくり ○地域団体活動支援事業	地域活動推進課	①近所との付き合いがほとんどない区民の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025年度</th></tr><tr><td>21.6%</td><td>18%</td></tr></table> (近所同士のつながりが生まれているかを計るため)  ②住民同士の交流の場があると感じている区民の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025年度</th></tr><tr><td>32.2%</td><td>40%</td></tr></table> (住民同士の交流の場の充実度を計るため)	2020年度	2025年度	21.6%	18%	2020年度	2025年度	32.2%	40%
2020年度	2025年度											
21.6%	18%											
2020年度	2025年度											
32.2%	40%											

	●地域の様々な課題の見える化とその課題を解決するための仕組みづくりを進めるとともに、地域で活動する新たな人材の発掘に向けた取組を進める。	○まちなかサロン事業等居場所の立ち上げ支援、助成金、意見交換の場、研修などの実施	中野区社会福祉協議会	①社会的孤立にある人や生きづらさを抱えた方（ひきこもりや外国人世帯等）も含め、様々な区民が参加できる居場所の数（情報掲載できる数）				
	●地域での活動の核である町会・自治会への加入の促進や町会・自治会活動の担い手として、多くの区民が参加できるよう支援を進める。	○居場所活動をしている団体の情報交換を行い、コロナ禍での活動のあり方、モチベーションの維持、連携等を支援する		<table><tr><th>2019 年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>406 か所</td><td>450 か所</td></tr></table>	2019 年度	2025 年度	406 か所	450 か所
	2019 年度	2025 年度						
406 か所	450 か所							
●NPO 法人などの多様な公益的な活動 団体が行う、自主的な活動の支援を進める。	○こどもほっとネット in なかの（事務局）を通して助成金の案内や活動PR 等を通じて各団体の活動の活性化と、ネットワークを活用した支援活動を展開	②社協が進める「まちなかサロン」にの参加人数（延べ参加人数）						
	町会・自治会等による近隣見守り活動の定着促進	中野区町会連合会	③子どもの貧困に取り組む団体が増加している。（子ども食堂・学習支援50団体）					
	○見守り支えあいの原点である、人と人のつながりの大切さを様々な活動を通しアピールし、加入率の向上を図る		<table><tr><th>2020 年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>2,809 人</td><td>12,000 人</td></tr></table>	2020 年度	2025 年度	2,809 人	12,000 人	
2020 年度	2025 年度							
2,809 人	12,000 人							
	○町会・自治会の人材育成、加入促進のための事業のさらなる定着で運営者・参加者を増やし、町会・自治会への関心をさらに喚起する		<table><tr><th>2019 年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>24 団体</td><td>50 団体</td></tr></table>	2019 年度	2025 年度	24 団体	50 団体	
2019 年度	2025 年度							
24 団体	50 団体							
	○保護司活動を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護の取組	保護司						
	○保護司活動や「社会を明るくする運							

		動」を通じた犯罪・非行の防止、犯罪・非行をした人の立ち直り支援や更生保護・再犯防止普及啓発										
		犯罪や非行の防止のための啓発活動や、少人数の区民による対話集会(ミニ集会)の実施、矯正施設の慰問、保護司への協力などの他、子育て支援活動等の地域社会づくり。	中野区更生保護女性会									
		★地域の課題解決に向けた関係機関の連携の強化 ○区民団体連携支援事業 ★町会・自治会と区との連携の強化 ○町会・自治会活動強化支援事業 ★地域における公益的な活動を担う人材・団体に対する支援の強化 ○地域人材育成・マッチング事業 ○地域における公益的な活動団体活性化支援事業	地域活動推進課	○最近1年間に地域活動に関わっていない人の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>31.7%</td><td>25%</td></tr></table> (地域活動に関わっている実態を図るため)  ②地域課題の解決に取り組む団体の新規立上げ支援数 <table><tr><td>2017～20年度</td><td>～2025 年度</td></tr><tr><td>15団体</td><td>36団体</td></tr></table> (地域における公益的な活動の活性化を計るため)	2020年度	2025 年度	31.7%	25%	2017～20年度	～2025 年度	15団体	36団体
2020年度	2025 年度											
31.7%	25%											
2017～20年度	～2025 年度											
15団体	36団体											
●子育て支援活動の活性化に向け、子育て支援を担う人材の発掘や子育て関連団体のネットワーク化を進める。  ●子育て家庭が地域の中で安心して暮らせるよう、区民相互の助け	○中学校区ごとの地区懇談会の実施 ○学校行事や地域の育成活動に参加し、子どもの状況や課題を把握する ○乳幼児から青少年までの一貫した子どもの成長を支援するため、区や関係機関と協働した家庭・地域・学校の連携の推進	各中学校区の地区懇談会										

	合いによる子育て支援活動を促進する。	○地域住民の理解と参加を深めるため、広報紙の発行による活動状況の周知 ○地域内の団体・関係機関との連携による地域の環境の点検、浄化および啓発活動 ○キャンプ、ハイキングなどの事業を通じた子どもと大人、子ども同士、大人同士の交流の機会や体験の場の提供 ○小学生を中心にミニリーダー講習会などを実施し、子どもたちが地域で集まって楽しめる場所の提供 ○育成者及び年少リーダーの養成 ○交流やルールの遵守、体力向上などを目的としたスポーツ大会の開催 ○地区委員や地域の育成者を対象とした研修の実施、地域住民を対象とした講演会の開催	青少年育成地区委員会			
		子ども向け衣類やおもちゃ、文房具などの交換会と食品配布	kodomore			
		★地域の子育て支援施設の機能強化 ○児童館における子育て活動支援事業 ★子育て関連団体への支援の強化 ○育成団体支援事業	育成活動推進課	①子育て支援活動に参加した区民の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>4.7%</td><td>10%</td></tr></table> (地域における子育て支援活動活性化のための取組の充実度を計るため)	2020年度	2025 年度
2020年度	2025 年度					
4.7%	10%					

		地域の相互援助活動の推進 ○ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	②ファミリー・サポート・センター事業における利用 マッチング率 <div> <div>2020年度</div> <div>2025 年度</div> <div>85.4%</div> <div>90%</div> </div> (子育てに関する相互援助活動の充実に向けた取組の 効果を計るため)
●安心して妊娠・出産・育児をすることができるよう、妊娠から子育てにかかる切れ目ない一貫した相談支援体制の充実を図る。	★多様なニーズに応じた子育てサービス・情報提供体制の整備 ○父親の育児参加支援事業	すこやか福祉センター		①子育てサービスを必要に応じて利用できた割合 <div> <div>2020年度</div> <div>2025 年度</div> <div>95.6%</div> <div>98%</div> </div> (子育て家庭のニーズに応じたサービスが実施されているか計るため)
	★育児支援を特に必要とする家庭への支援 ○母子生活支援施設運営 ○ひとり親家庭支援 ○多胎妊婦・多胎児家庭支援事業	子育て支援課 すこやか福祉センター		
	★一貫した地域相談支援体制の整備 ○子ども発達支援事業 ○療育施設運営	子ども特別支援課 すこやか福祉センター		

●特別な配慮を必要とする子どもとその家庭の置かれている状況や特性に応じて、必要な支援が受けられるよう、一貫した相談支援体制の充実を図る。 ●発達の課題や障害のある子どもとその家庭が地域で孤立することがないよう、発達障害等に関する区民の理解の促進や保護者同士がつながり、交流する機会の創出に向けた取組等を推進する。	日本語に不安がある子ども、その保護者、大人向け支援 ○子どもの発達に合った学習の支援 （必要に応じて臨床心理士・言語聴覚士・社会福祉士などが協力） ○保護者向けに発達相談等 ○やさしいにほんごクラスの開催	NPO 法人 HATI JAPAN 多文化多言語の子ども発達支援								
	★医療的ケアを必要とする子どもへの支援 ○医療的ケア児支援事業 ○民間障害児支援事業所運営支援	子ども特別支援課 保育園・幼稚園課 ほか	①「日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができている」と考える保護者の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>87.7%</td><td>95%</td></tr></table> （障害児通所支援サービスに対する評価を計るため） ②区立障害児通所支援施設における保護者を支援するプログラムの開催回数 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>18 回</td><td>24 回</td></tr></table> （障害児の保護者支援や交流支援により、保護者の支え合いが行われているか計るため）	2020年度	2025 年度	87.7%	95%	2020年度	2025 年度	18 回
2020年度	2025 年度									
87.7%	95%									
2020年度	2025 年度									
18 回	24 回									
●高齢者の日常生活を支え、支援を必要とする高齢者を早期に発見し、必要な支援につながるよう、地	○地域の顔として住民と専門職・行政のパイプ役となる （町会・自治会、防災・都市安全分野、警察署、消防署との連携）	中野区民生児童委員協議会								

	域の見守り・支えあい活動や ICT（情報通信技術）を活用した見守りを充実させる。	○地域支えあい見守り活動及び生活支援活動の実施	中野区友愛クラブ連合会	①会員増員計画～仲間を増やそうキャンペーン～ ②地区連合会（以下、地区連）事業の活性化・魅力づくり								
	●今後も進展を続ける高齢社会に対応できる体制を構築していくために、関係機関等の連携を推進するとともに、身近な地域における高齢者の相談支援体制を充実させる。	★要介護予備軍(年齢の平均よりも機能低下がある方)、介入の必要があるのに介入拒否のある方、情報が届かない方、多問題を抱えている方等へ ○「地域包括」の活動についての周知、啓発活動 ○相談者が抱える問題に応じて他機関へつなぐ等の連携	中野区地域包括支援センター	○最近1年間に地域活動に関わっていない人の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>31.7%</td><td>25%</td></tr></table> (地域活動に関わっている実態を図るため)  ○地域包括支援センターの周知度 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>25%</td><td>50%</td></tr></table>	2020年度	2025 年度	31.7%	25%	2020年度	2025 年度	25%	50%
	2020年度	2025 年度										
	31.7%	25%										
2020年度	2025 年度											
25%	50%											
	★地域の見守り・支えあいの推進 ○高齢者の見守り・支えあい推進事業 ★高齢者の相談支援体制の整備 ○すこやか福祉センター整備・運営 ○地域包括支援センター整備・運営 ○地域ケア会議運営 ○アウトリーチ活動の推進	地域活動推進課 地域包括ケア推進課 すこやか福祉センター	①「何かあったときに相談する相手がいる」と思う高齢者の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>51.7%</td><td>55%</td></tr></table> (高齢者が地域で見守られている実感を計るため)  ②地域包括支援センターを身近に感じる人の割合（50 歳代以上） <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>22.9%</td><td>30%</td></tr></table> (地域に必要な相談窓口として、高齢者や地域における支援者の認知度を計るため)	2020年度	2025 年度	51.7%	55%	2020年度	2025 年度	22.9%	30%	
2020年度	2025 年度											
51.7%	55%											
2020年度	2025 年度											
22.9%	30%											
	安心・安全な消費生活の確保 ○消費生活相談 ○消費生活普及啓発事業	区民文化国際課 消費生活センター										



	●就労や地域活動等により、いくつになっても居場所を持ち、活躍できる環境の充実を図る。 ●興味・関心や趣味を通じた多様な形で交流・つながりが生まれる環境づくりを進める。	★孤立を防ぐつながり・交流機会の充実 ○友愛クラブ活動支援事業 ○地域団体活動支援事業	地域活動推進課 介護・高齢者支援課	①収入のある仕事を週1回以上している65歳以上の区民の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025年度</td></tr><tr><td>27%</td><td>35%</td></tr></table> (高齢者の就労状況を計るため)  ②60歳代以上における地域活動を行っている割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025年度</td></tr><tr><td>60歳代:22.7% 70歳代:38.3% 80歳以上:36.5%</td><td>45%</td></tr></table> (ボランティア等、地域活動への高齢者の参加状況を計るため)	2020年度	2025年度	27%	35%	2020年度	2025年度	60歳代:22.7% 70歳代:38.3% 80歳以上:36.5%	45%
	2020年度	2025年度										
	27%	35%										
2020年度	2025年度											
60歳代:22.7% 70歳代:38.3% 80歳以上:36.5%	45%											
●潜在的な要支援者を早期に発見し、本人やその家族に必要な相談支援につなぐため、地域のネットワークなどを通じた取組を進める。	★要支援者の早期発見と継続的な見守り・支援 ○要支援者早期把握 ○アウトリーチ活動の推進	地域活動推進課 すこやか福祉センター	①アウトリーチチームが対応して適切に支援につなげた割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025年度</td></tr><tr><td>78.4%</td><td>85%</td></tr></table> (アウトリーチチームの要支援者に対する対応状況を客観的に表す指標であるため)	2020年度	2025年度	78.4%	85%					
2020年度	2025年度											
78.4%	85%											
●障害者及び介護者の高齢化、障害の多様化・重度化など個々の置かれている状況や特性に応じて、切れ目なく必要な支援やサービスが受けられるよう相談支援体制の充実を図る。 ●重度障害者をはじめ障害者が地	★安心して地域生活が送れる仕組みづくり ○地域ケア会議運営 ○アウトリーチ活動の推進  ★関係機関との連携体制と相談支援体制の強化 ○障害者相談支援事業	地域包括ケア推進課 すこやか福祉センター  障害福祉課 すこやか福祉センター	①障害福祉サービスを利用していない理由のうち「サービスを知らない」「利用方法がわからない」の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025年度</td></tr><tr><td>21.1%</td><td>10%</td></tr></table> (地域生活を継続するための相談支援、サービス提供体制や社会基盤の整備状況を計るため)  ②入所施設から地域移行した障害者の数	2020年度	2025年度	21.1%	10%					
2020年度	2025年度											
21.1%	10%											

	域で安心して暮らせるよう、関係機関との連携や人材育成を進めるとともに、障害者の地域生活への移行を支える基盤の整備を着実に進める。	★福祉人材の確保・育成 ○人材育成・養成事業 ★入所施設等からの地域生活への移行と地域生活の継続支援 ○地域移行・地域定着支援事業 ★障害福祉施設の整備・誘導 ○民間活力活用による障害者施設基盤整備・誘導 ○障害福祉施設運営	障害福祉課	(2015 年度以降の累積数) <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>10人</td><td>39人</td></tr></table> (障害者の地域移行に必要な環境の地域における整備状況を計るため)	2020年度	2025 年度	10人	39人						
2020年度	2025 年度													
10人	39人													
(2)避難行動要支援者への避難支援	●地震や台風、局地的集中豪雨など大規模自然災害の発生時における人命の保護を最大限に図るとともに、迅速な復旧・復興に向けた体制づくりを進める。  ●防災活動の担い手の育成や日常的な地域のつながりの形成、自助・共助による防災の取組を進める。	避難行動要支援者への避難支援  ○災害時避難行動要支援者支援事業	地域活動推進課  防災危機管理課	①地域自主訓練等参加人員 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>45,600 人</td><td>60,000 人</td></tr></table> (地域防災に関する区民の関心度を計るため)  ②飲料水・食料を備蓄している区民の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>飲料水 60.3%</td><td>飲料水 75%</td></tr><tr><td>食 料 56.4%</td><td>食 料 65%</td></tr></table> (区民の震災への備えの状況を計るため)	2020年度	2025 年度	45,600 人	60,000 人	2020年度	2025 年度	飲料水 60.3%	飲料水 75%	食 料 56.4%	食 料 65%
2020年度	2025 年度													
45,600 人	60,000 人													
2020年度	2025 年度													
飲料水 60.3%	飲料水 75%													
食 料 56.4%	食 料 65%													

## 【中野区町会・自治会】

区内の町会・自治会の数は、108。

町会・自治会は、それぞれの地域に住んでいる人々によってつくられた地縁の住民自治組織です。

町会掲示板や回覧板で地域の行事などの様々な情報をお知らせするほか、地域での生活が充実し、住んでいる方々の交流が広がるよう、防災訓練や子ども会活動、お祭りなどの行事を行っています。

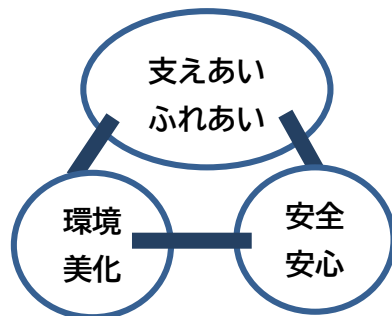
高齢者世帯等への町会員、民生児童委員・警察・消防と連携した訪問活動、外出自粛時には、高齢者の近況をうかがう往復はがきを発送するなど、工夫を凝らした地域の見守り活動にも力を注いでいます。

令和2年度には、中野区町会連合会と中野区は「協働によるまちづくりパートナーシップ協定」を締結し、より暮らしやすい地域づくりを目指しています。

【安全・安心の活動】  
防災訓練、バケツリレー！



【見守り支えあいの活動】  
「お変わりありません？」  
「困った事はありませんか？」



## 【中野区民生委員・児童委員】

ちょっとしたことでも お気軽にご相談ください！

- ・高齢者のこと 介護のこと
- ・子育てに関すること
- ・障がいに関する悩み
- ・親子関係 家庭環境
- ・生活上の困りごと
- ・妊娠、出産の不安

※相談内容に応じた関係機関と連携をとり橋渡しをします。

### ◆民生委員・児童委員は、地域の福祉をひとつにつなぎます◆

民生委員法により、区民のみなさんの暮らしを支援する活動をしています。また、児童福祉法による児童委員も兼ね、児童福祉に関する相談にも応じています。更に、子どもに関する支援を専門に行う主任児童委員を配置しています。



### 高齢者の見守り

75歳以上でひとり暮らしの方や  
75歳以上の方のみの世帯を訪問し、  
生活のご様子や困りごとなどを伺います。

### 地域の活動への参加

小学生の新入学時の登下校の  
見守りをしています。



を教えています。試験の時期には対策も行いますが、お国柄によって勉強に対する考え方もずいぶん違うので、その違いを楽しみながら活動しています。



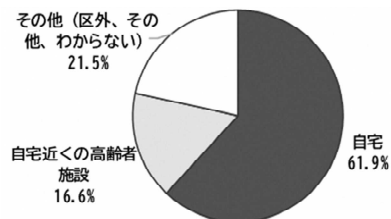
## 柱5 生活を支えるサービス、生活を豊かにするサービス

### 【現状と課題】

#### (1)生活支援サービスの質・量の確保

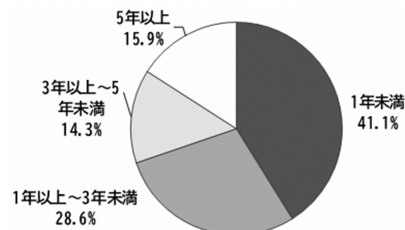
□介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる介護サービスの充実と、そのための介護人材の確保・定着支援。

介護が必要になった場合に介護を受けたい場所



中野区基本計画 施策29より

介護事業従事者の離職時の勤務年数



中野区基本計画 施策29より

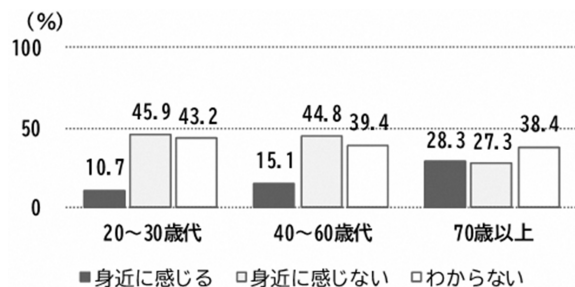
#### (2)住民主体サービスの拡充、民間サービスとの役割、コーディネート機能

□子どもの一時預かりや高齢者の介護サービスの利用などについて、公的なサービスだけでなく、地域の相互援助や住民主体のサービスの質・量の確保、活性化。

□一人暮らし高齢者の増加や多岐・多様な区民ニーズに対応するための、地域活動を支える担い手の育成や活動内容の普及啓発等の支援、活動意欲のある人と活動をつなげる仕組みや活動団体間の連携や活動のマッチングの充実。

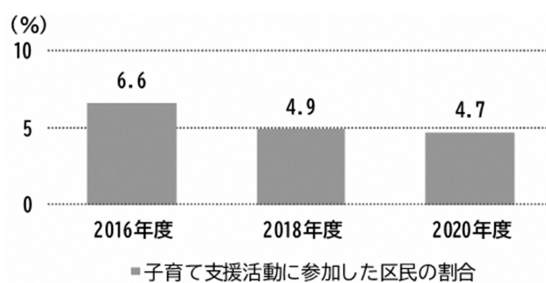
□区民活動センターを地域の交流・活動拠点として身近に感じてもらうための、区民活動センター運営委員会による活動や団体のコーディネートをする役割。

年代別の区民活動センターを身近に感じる割合



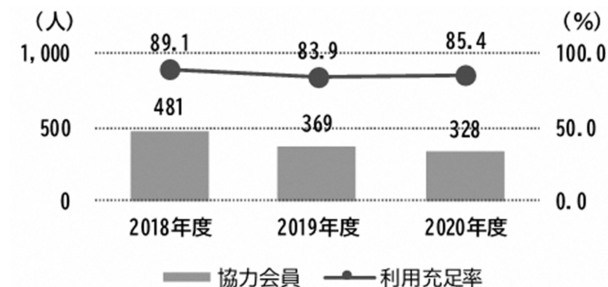
中野区基本計画 施策5より

子育て支援活動に参加した区民の割合（最近1年間）



中野区基本計画 施策20より

ファミリー・サポート・センター活動実績



中野区基本計画 施策20より

【取組の例】

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体名・区の主管課	現状と令和7年度(2025年度)の目標値				
(1)生活支援サービスの質・量の確保	●高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、支援が必要な人に適切な医療や介護・生活支援サービスを提供するとともに、ライフスタイルや身体機能に応じて住まい方の選択ができる環境づくりを進める。	★区民それぞれが望む在宅療養生活の実現  ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング)普及啓発  ○在宅療養相談窓口  ○在宅療養推進事業	地域包括ケア推進課	①主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>43%</td><td>55%</td></tr></table> (医療と介護の連携状況を具体的に計るため)	2020年度	2025 年度	43%	55%
		2020年度	2025 年度					
		43%	55%					
★多様な介護サービスの提供に向けた体制づくり  ○要介護度改善推進事業  ○介護人材確保・育成等支援事業  ○地域・社会資源普及啓発	介護・高齢者支援課	②「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>32.7%</td><td>60%</td></tr></table> (自宅で安心して療養生活を送るための環境が整っているか区民の実感を計るため)	2020年度	2025 年度	32.7%	60%		
2020年度	2025 年度							
32.7%	60%							
★在宅から入所まで高齢者を支える基盤整備  ○介護サービス基盤施設整備・誘導  ○住宅確保要配慮者入居支援事業	介護・高齢者支援課 住宅課							

(2)住民主体サービスの拡充、民間サービスとの役割、コーディネート機能	●地域の様々な課題の見える化とその課題を解決するための仕組みづくりを進めるとともに、地域で活動する新たな人材の発掘に向けた取組を進める。 ●地域での活動の核である町会・自治会への加入の促進や町会・自治会活動の担い手として、多くの区民が参加できるよう支援を進める。 ●NPO 法人などの多様な公益的な活動団体が行う、自主的な活動の支援を進める。	★地域の課題解決に向けた関係機関の連携の強化 ○区民団体連携支援事業 ★町会・自治会と区との連携の強化 ○町会・自治会活動強化支援事業 ★地域における公益的な活動を担う人材・団体に対する支援の強化 ○地域人材育成・マッチング事業 ○地域における公益的な活動団体活性化支援事業	地域活動推進課	①地域活動を行っている区民の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>19.6%</td><td>25%</td></tr></table> (地域活動の担い手として活動している人材の割合を計るため) ②地域課題の解決に取り組む団体の新規立上げ支援数 <table><tr><th>2017～20年度</th><th>～2025 年度</th></tr><tr><td>15団体</td><td>36団体</td></tr></table> (地域における公益的な活動の活性化を計るため)	2020年度	2025 年度	19.6%	25%	2017～20年度	～2025 年度	15団体	36団体
	2020年度	2025 年度										
	19.6%	25%										
2017～20年度	～2025 年度											
15団体	36団体											
●区民活動センターを拠点として、地域課題の解決に向けた地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進する。 ●地域住民の様々な交流・活動拠点である区民活動センターを、身近な施設として誰もが快適に利用できるよう運営・整備を進める。	区民活動センターを中心とした地域自治・住民活動の促進 ○区民活動センター運営委員会地域活動支援事業	地域活動推進課	①区民活動センターを身近に感じる人の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>16.7%</td><td>20%</td></tr></table> (区民活動センターが地域の拠点として広く浸透していることを計るため) ②区民活動センター集会室利用率(15 施設の平均) <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>34.4%</td><td>55%</td></tr></table> (利便性の向上により、集会室利用の向上が見込まれるため)	2020年度	2025 年度	16.7%	20%	2020年度	2025 年度	34.4%	55%	
2020年度	2025 年度											
16.7%	20%											
2020年度	2025 年度											
34.4%	55%											
●子育て家庭が地域の中で安心して暮らせるよう、区民相互の助け合いによる子育て支援活動を促進する。	★地域の相互援助活動の推進 ○ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	①ファミリー・サポート・センター事業における利用マッチング率 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>85.4%</td><td>90%</td></tr></table> (子育てに関する相互援助活動の充実に向けた取組の効果を計るため)	2020年度	2025 年度	85.4%	90%					
2020年度	2025 年度											
85.4%	90%											

●介護が必要となる状態をできる限り防ぎ、健康的な生活を維持・向上し、生き生きと暮らしていくために、高齢者が身近な地域において、日頃から主体的に介護予防に取り組める環境づくりを進める。	体操や歌など介護予防につながる活動の場の提供	宮園高齢者会館運営委員会									
	○飲食を通じた交流事業(会食会、納涼会、緑野中交流会等) ○学生、障がい、高齢者等、老若男女の多世代交流として「東山まつり」を企画	NPO 法人 リンク東山	○年 25 回実施  ○年 1 回実施								
	食事会の開催、気軽に来られる居場所の提供	上高田ふれあいの会									
	脳トレ体操・看護師の個別相談などを実施し、健康を見守る場の提供	駒ちゃんサロン									
	イベントをとおして地域の高齢者の交流とおしゃべりの場を提供	昭和区民活動センター運営委員会 すてっぷサロン									
	住民主体サービスの一環としてサロンや手仕事、シアターなど集える場所の提供	なかのさくらぐみ									
	「100 歳まで生きる」を目標にフレイル予防の場を提供	東中野うたごえの丘									
	★区民・団体が主体的に提供する介護予防の取組の促進 ○住民主体サービス支援事業 ○高齢者会館運営	介護・高齢者支援課 すこやか福祉センター	①住民主体サービスを提供する地域団体等の数 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>20 団体</td><td>30 団体</td></tr></table> (虚弱高齢者を含めた地域住民による支援の現状を計るため)  ②体操や軽運動など介護予防のための通いの場への参加状況 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>18.9%</td><td>25%</td></tr></table> (介護予防に取り組んでいる高齢者の状況を計るため)	2020年度	2025 年度	20 団体	30 団体	2020年度	2025 年度	18.9%	25%
	2020年度	2025 年度									
20 団体	30 団体										
2020年度	2025 年度										
18.9%	25%										



## 【なかのさくらぐみ】

2015年4月より前身団体にてサロン・シアターを発足し、現在に至るまで体操・認知症講座・季節にあった企画や文化芸能(落語・マジック)など様々な活動が続けてきました。介護予防・日常生活支援総合事業が始まってからは、住民主体サービスとして開催頻度を増やし(週1/月4回)、新型コロナウイルス感染症拡大前には、週ごとにバリエーションのあるイベントを行ってきました。元気な高齢者の参加が多いなか、内容によっては普段は見かけない、こもりがちと思われる高齢者の参加や会話をしない男性でも次回も参加してくれており、その人なりに楽しんでもらえたと実感しています。また参加者の中には、数人のグループで別活動も始めています。新井地域には高齢者会館がないため、代わりに地域コミュニティとしての役割と介護予防の目的を果たす事ができたと感じています。

新型コロナウイルス感染症拡大後は規模を縮小して実施するだけでなく、LINEを活用して、毎朝安否確認のスタンプ配信などを行っています。アウトリーチチームや民生委員の方たちが、訪問先でさくらぐみの活動を紹介してくれていますので、支援が必要な人へのアプローチに



なるよう、より多くの方に浸透させ活動を知ってもらいたいと考えています。

## 【NPO法人リンク東山】

「リンク東山」は、「住民が互いに支え合うまちづくり」を目指し、主として中野区立東山会館を運営しています。高齢者をはじめ、広く一般市民を対象として、健康づくりや介護予防、交流、様々な団体や関係機関等との協働事業、及びそれらに関する研究・普及・啓発事業を行い、地域住民が共につながり助け合う、開かれた地域の実現に寄与することを目的としています。

東山会館での活動の例としては、①東山まつりや納涼会、緑野小・中学校との交流会といった人々が集う活動。②折り紙教室や東山文化講座といった学びの活動。③東山体操をはじめとした体操や太極拳等の健康を支援する活動。④ふれあい会食会や郷土料理を楽しむ会など食を通じた活動。⑤住民主体によるミニデイなどです。

東山文化講座では地域の人々がつながる楽しさを実感するため、連続講座として男性講座・女性講座を開催し、講座終了後も卒業生が集い、仲間のつながりで活発な地域活動を展開しています。

また、「東山まつり」は普段、東山会館を利用している高齢者が中心となって、地域の学校や団体など老若男女の多世代が集まる盛況ぶり



です。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、一時的な事業縮小や中止もありますが、感染予防に努めながら歩みを止めず、引き続き、住民同士の交流を深め、活動することを支援していきます。

## 柱6 地域医療

### 【現状と課題】

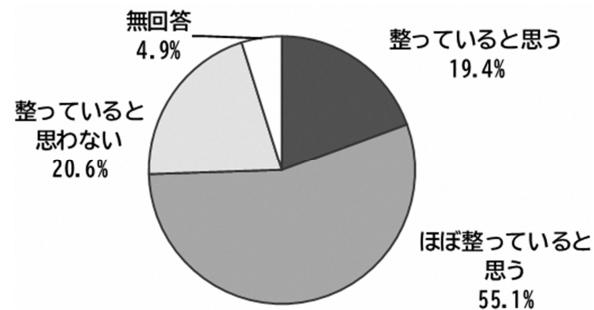
#### (1)在宅医療、地域での医療提供の充実と多職種連携の一層の推進

- 子どもから高齢者まで疾病や症状に応じた医療を身近な地域で受けられるよう相談体制・医療体制の整備を進めていくこと。
- 個人の選択のもと、在宅療養を選択肢の一つとして広め、医療・介護サービスの充実、連携体制の構築などを図りながら在宅医療ができる環境作り。
- 夜間や休日の急病等にも適切な医療を提供できるよう、医師会等の協力を得ながらの、初期救急医療体制や連携体制の強化。

#### (2)かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の推進

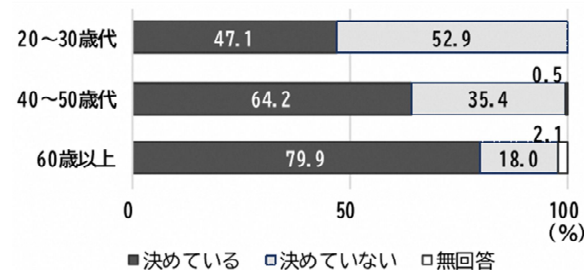
- 身近な地域で日常的に受診・相談ができるよう、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の普及と定着、病院と診療所の連携の推進など医療体制の充実。

病状に応じた適切な医療が受けられる環境が整っていると思う人の割合



中野区基本計画 施策40より

かかりつけ診療所を決めている人の割合



中野区基本計画 施策40より

## 【取組の例】

課題	取組の方向性	団体・区の今後の取組	関係団体名・区の主管課	現状と令和7年度(2025年度)の目標値								
(1)在宅医療、地域での医療提供の充実と多職種連携の一層の推進	●高齢期も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、支援が必要な人に適切な医療や介護・生活支援サービスを提供するとともに、ライフスタイルや身体機能に応じた住まい方の選択ができる環境づくりを進める。	ホームホスピス、居宅介護支援、デイサービス、訪問介護、訪問看護ステーション等の運営、終末期医療や地域包括ケア等についての普及啓発活動	特定非営利活動法人なかの里を紡ぐ会									
		東京都区西部緩和ケア連携推進事業の相談支援部会の相談窓口や、冊子「がんと共に生きる」の作成	NPO法人ピクニックケア									
		★区民それぞれが望む在宅療養生活の実現 ○ACP(アドバンス・ケア・プランニング)普及啓発 ○在宅療養相談窓口 ○在宅療養推進事業	地域包括ケア推進課	①主治医と十分連携が取れているケアマネジャーの割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>43%</td><td>55%</td></tr></table> (医療と介護の連携状況を具体的に計るため) ②「長期療養が必要になった場合に可能な限り自宅や実家で過ごしたい」人の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>32.7%</td><td>60%</td></tr></table> (自宅で安心して療養生活を送るための環境が整っているか区民の実感を計るため)	2020年度	2025 年度	43%	55%	2020年度	2025 年度	32.7%	60%
		2020年度	2025 年度									
	43%	55%										
2020年度	2025 年度											
32.7%	60%											
★在宅から入所まで高齢者を支える基盤整備 ○介護サービス基盤施設整備・誘導 ○住宅確保要配慮者入居支援事業	介護・高齢者支援課 住宅課											
●区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進める。 ●医薬品の安全・安心を確保するた	★地域での医療提供の充実 ○地域医療機関整備の検討 ○地域医療連携 ○休日診療・小児救急医療体制整備	保健企画課	①地域の救急医療体制が整っていると思う人の割合 <table><tr><th>2020年度</th><th>2025 年度</th></tr><tr><td>74.5%</td><td>80%</td></tr></table> (地域での医療提供の充実度を計る指標の一つとなる)	2020年度	2025 年度	74.5%	80%					
2020年度	2025 年度											
74.5%	80%											

	め、事業者等への指導を行うとともに、区民が適切に医薬品を使用できるよう普及啓発を進める。	<div>★保健所機能の強化</div> <div>○保健所機能強化</div> <div>○医療安全相談窓口事業</div> <div>★薬局等における安全管理体制の充実</div> <div>○医薬品販売業者等監視指導</div> <div>○医薬品等検査</div> <div>○残薬整理事業</div>	<div>保健企画課</div> <div>保健予防課</div> <div>生活衛生課</div> <div>保健企画課</div> <div>生活衛生課</div>	ため)  ②かかりつけ医を決めている区民の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>64.4%</td><td>80%</td></tr></table> (身近な地域において医療や相談を受けることができる体制の状況を計るため)	2020年度	2025 年度	64.4%	80%
2020年度	2025 年度							
64.4%	80%							
(2)かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の推進	●区民の誰もが、身近な地域で安心して必要な医療を受けられる体制づくりを進める。	<div>○中野区の医療行政全般</div> <div>(学校医など学校保健、予防接種、乳幼児健診、妊婦健診、区民健診、休日診療、小児初期救急医療、災害時医療など)</div> <div>○産業医の育成、紹介</div> <div>○区民に対するかかりつけ医紹介、栄養指導等</div> <div>○訪問看護、訪問介護等と連携した在宅療養の推進</div> <div>○これまでの取組の継続</div> <div>(主治医による相談支援の強化、すこやか福祉センター地域包括支援センター、社会福祉協議会等々との連携強化、健診への理解促進、病病・病診・診診連携の推進、ICT活用による情報共有の推進など)</div> <div>○新たに①在宅医療を行う医療機関の増加、②認知症に対応できる医療機関の増加、③障害児者に対応できる医療機関の増加、に取り組む</div> <div>(研修会等の実施、会員メーリングリストを利用した啓発活動等)。</div>	一般社団法人 中野区医師会	かかりつけ医を決めている区民の割合 <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>64.4%</td><td>80%</td></tr></table> (身近な地域において医療や相談を受けることができる体制の状況を計るため)	2020年度	2025 年度	64.4%	80%
2020年度	2025 年度							
64.4%	80%							

	<div>○中野区歯科健診事業 成人・妊産婦・1歳6か月児・3歳児・5歳児歯科健診</div> <div>○休日歯科健診、歯科医療拠点事業</div> <div>○区内学校歯科健診 (保育園、幼稚園、小学校、中学校)</div> <div>○なかの歯と口の健康支援センター (障害児歯科診療、訪問診療、在宅口腔リハへの支援、区民への相談対応、各種福祉施設との連携など)</div> <div>○介護予防事業「なかの元気アップセミナー口腔機能向上プログラム」</div> <div>○区民のための「お口の健康講座」8020表彰</div> <div>○なかの健康づくりフェスタでのすこやか家族表彰(3歳児表彰)</div>	一般社団法人 中野区歯科医師会	<div>○かかりつけ歯科医を持つ区民の割合</div> <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>61.7%</td><td>75%</td></tr></table> <div>○定期的にかかりつけ歯科医に通っている区民の割合</div> <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>—</td><td>35%</td></tr></table> <div>○成人歯科健診受診率</div> <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>3.3%</td><td>7%</td></tr></table> <div>○在宅および施設療養者で口腔ケアを受けている区民の割合</div> <table><tr><td>2020年度</td><td>2025 年度</td></tr><tr><td>—</td><td>70%</td></tr></table>	2020年度	2025 年度	61.7%	75%	2020年度	2025 年度	—	35%	2020年度	2025 年度	3.3%	7%	2020年度	2025 年度	—	70%
2020年度	2025 年度																		
61.7%	75%																		
2020年度	2025 年度																		
—	35%																		
2020年度	2025 年度																		
3.3%	7%																		
2020年度	2025 年度																		
—	70%																		
	<div>○健康サポート薬局による健康相談・指導・セルフ・メディケーション指導・健康講座の開催</div> <div>○来局時の利用者の状態変化の把握と発症前の早期発見・受診勧奨、関係機関紹介、かかりつけ薬局の推進</div> <div>○主治医や在宅チームとの連携強化</div> <div>○残薬管理、服薬指導</div> <div>○衛生材料・介護用品の提供体制整備</div> <div>○生活や保健衛生状況の確認</div> <div>○かかりつけ薬局での 24 時間相談対応</div>	一般社団法人 中野区薬剤師会	<div>○健康サポート薬局数 25% 健康講座開催 2 回/年</div> <div>○すべての薬局がかかりつけ薬局</div> <div>○在宅訪問指導実施薬局 95%</div> <div>○認知症サポーター95%</div>																

		○在宅訪問による服薬指導・管理 ○見守り支援(SOSの早期発見) ○地域住民から徘徊等の情報受信		
		★地域での医療提供の充実 ○かかりつけ医(歯科医、薬局)普及啓発	保健企画課	



## 【一般社団法人 中野区医師会】

### 『行政と協力しながら様々な事業を展開』

中野区医師会は、区民の皆さんの健康を守るため様々な活動を行っています。区の医療行政全般のほか、例えば、主治医による相談支援の強化、すこやか福祉センター等との連携強化、健診への理解促進、病病・病診・診診連携の推進、ICT活用による情報共有の推進などです。

また、区民が住み慣れた地域で最期まで暮らし続けることができるよう、介護サービス（訪問看護や介護介護等）と連携した在宅療養を推進してきました。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策では、PCR検査センターへの医師の派遣、医師会館や個別医療機関でのワクチン接種、保健所などと連携して自宅療養者に対する往診や電話診療などに対応してきました。

今後は、これまでの取組に加え、新たに、①在宅医療を行う医療機関の増加、②認知症に対応できる医療機関の増加、③障害児者に対応できる

医療機関の増加、に取り組んでいきます（研修会等の実施、会員メーリングリストを利用した啓発活動等）。



## 【特定非営利活動法人 なかの里を紡ぐ会】

なかの里を紡ぐ会は2015年1月に「中野区に『ホームホスピス』を創ろう」と医療や介護の専門職と区民によって立ち上げられたNPO法人です。区内で「ホームホスピス里の家」の他、居宅介護支援「桜フローラル」、デイサービス「桜フローラル」、訪問介護「けあらんぐ里の風」、ひよこ訪問看護ステーションなどの介護サービスを運営しています。また、地域の様々な団体と協働し、まちなかサロン「ほっとサロン南口」の運営参加や終末期医療や地域包括ケアなどについて普及啓発活動を行っています。

法人設立のきっかけとなった『ホームホスピス』とは、ホスピスの理念（一人ひとりを大切に、温かいおもてなしをする）を基に、普通の住宅という家庭的な環境で、5人の入居者がとも暮らしをしている「第二の我が家」です。終末期の方ばかりが入居する「看取りの家」ではなく、人生の最期まで自分らしく、美味しいものを食べて、生きていく「人生最終

章の居場所」です。入居者それぞれの主治医、歯科医師、薬剤師、ケアマネジャー、訪問看護師、ヘルパー等が連携して、地域の協力を得ながら尊厳ある暮らしをサポートしています。

